

# 高岡ロータリークラブ



2024/10/31

会長／田中 哲 幹事／山口 洋祐

No.17

例会日：木曜日 12:30～13:30 創立：1951/11/15 チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 車 会場監督 点 鐘 田中 会長  
国歌斉唱

ロータリーの目的／四つのテスト  
ゲスト

秋水美術館 館長 浅地 豊 様  
学芸員 澤田 雅志 様

会長挨拶／報告

誕生祝

茶谷 修治 さん (11/1・54 才)  
二上 利博 さん (11/1・65 才)



ニコニコBOX 10 件 33,000 円

田中会長／今週は飲み会が 4 回あります。体力勝負ですが、今日も 2 日酔いでヘロヘロです。

才高副会長／秋水美術館の浅地館長様、学芸員の澤田様、本日はありがとうございます。

山口幹事／昨日の南活のコンペで田中会長、金森さんと同組で楽しくゴルフをさせていただきました。結果も良く優勝をさせていただきましたが、その後のワイン代が高かつきました。

永田君／この度、公益財団法人米山記念奨学会の理事に就任しました。少しでも寄与できるよう努めます。当クラブとしても一層の理解と奨学金のご支援をよろしく願いいたします。

山本（毅）君／総選挙が終わり、与党が大敗しました。敗因の根本は、総裁選の党員投票で 1 位であった高市早苗ではなく、無理矢理 2 位の石破茂を総裁にしたことだったと思います。石破は必要な人脈も政策も持っておらず、官邸でのモーニング姿の写真で「だらし内閣」と名付けられ、ようやく掲げた政策の 1 番目は小学生でもあるまいに「ルールを守る」でした。石破は総裁選ですぐに解散しないと言っているながら、総理大臣に選出される前からすぐに解散すると言い出し、目標の与党過半数を大きく割り込んで、ルールに従って潔く辞任する気も全くないようです。今回の総選挙の救いは、作家の白田尚樹が党首を務める日本保守党で、河村たかし前名古屋市長、国際政治学者の島田洋一など 3 人が当選し、獲得投票率 2 パーセントの条件をクリアして

国政政党になったことです。

谷道君／ちょっと良いことがありました。

鞍野君／10 月 26～27 日に RC メンバーとそのご家族を含め 8 名にて、紅葉真っ盛りの天飾山麓へ行ってきました。紅葉の素晴らしい鎌池周辺の散策と大渚山に登山。天候にも恵まれ、山頂からの眺望も素晴らしく、北アルプス、北信越の 100 名山も多く見渡せました。ご参加いただいた大谷さん、板谷さんご夫婦はじめ、同好会世話人の皆様ありがとうございました。

竹中君／谷道さん高岡市自治功労者表彰おめでとうございます。

高木君／昨日開催の「高岡南部地域活性化推進協議会懇親ゴルフ」には、当クラブからも多数のご参加を賜り、大会を盛りたてていただきました。御礼申し上げます。

四津谷君／いよいよ富山マラソンです。先日、びっくりすることがありました。マラソンのエントリーのハガキが 2 枚来まして、1 枚は私、もう 1 枚は娘でした。全く寝耳に水だったのですが、親の背中を見て育ったからでしょうか？でも、親の背中を見せるはずが、レースでは娘の背中を見ながら後塵を拝する事になるような…(>\_<) 4 時間以内のゴール目指して頑張ります

## <プログラム>…卓話

### 「越中高岡の刀工」



浅地 豊 様

澤田 雅志 様

### 【浅地豊館長】

皆さん、こんにちは。公益財団法人秋水美術館の館長、浅地です。

今日は、このように田中会長さんをはじめ、そうそうたる皆さんの前でお話をさせていただけること、大変光栄に思っています。まず、簡単に当美術館のことをお話しさせていただきます。私どもの秋水美術館は創立から9年目を迎え、少しずつ皆さまにも知っていただけるようになりました。そして、今ちょうど「日本刀物語」という大規模な展覧会を開催しております、ありがたいことに多くの方にお越しいただいています。この後は当館の澤田主任が日本刀の魅力についてお話しさせていただきます。

### 【澤田雅志主任学芸員】

皆さん、こんにちは。澤田です。今日は「越中高岡の刀工（とうこう）」というテーマでお話しさせていただきます。まず、日本刀のイメージですが、多くの方が「よく切れて怖い」といった想像をされるかもしれません。しかし実は、日本刀には「用・美・心」という三つの見どころがあるのです。

まず「用」ですが、日本刀の本質はやはり武器ですから、実用性が重要です。「折れず、曲がらず、よく切れる」ことが必須で、これが刀の基本です。そして「美」、これは姿や刃の刃文などの形状美です。刀のカーブや均整のとれたデザインは、日本の美意識が詰まったものです。「心」は、武士の精神や神社仏閣への奉納などの神聖な意味を指し、刀には神聖な祈りや心が込められています。

さらに日本刀の形や特徴についてですが、「太刀（たち）」は平安から室町時代にかけて用いられた、馬上での戦闘に適した形で、刃が下向きになります。対して「刀（かたな）」は江戸時代に発展したもので、刃が上向きで腰に差す形になり、徒歩での戦闘に適したものでした。これらの違いにも、時代の変化が反映されています。

さて、高岡の刀工たちに話を移しますが、実は越中は、五大産地の次に多くの刀工を抱えた土地なんです。特に鎌倉から南北朝時代にかけて活躍した「宇多派（うだは）」という刀工集団は有名で、南朝に味方して富山に移り住み、技術を広めました。宇多派の作風には、大和（奈良）の技術や鎌倉の名工である正宗（まさむね）の影響も見られ、特徴的な美しさがあるんです。初代の「宇多国光（うだくにみつ）」はその代表で、彼が鍛えた刀は、まっすぐな波紋が特徴で、非常に貴重な作品となっています。また、江戸時代には加賀藩に仕えた清光（きよみつ）という刀工が高岡に移住し、名刀を多く生み出しました。彼の刀には「越中高岡住清光作」という銘が刻まれ、特に波紋が美しいと評されています。実際にここに展示している刀もありますので、ぜひご覧ください。

最後になりますが、越中の刀工たちは、長らく「田舎鍛冶」とされ低く評価されてきました。しかし実は、彼らの作品にも多くの名刀が存在し、今後の研究によってさらなる評価が期待されるところです。

短い時間でしたが、日本刀の魅力をお伝えできていれば幸いです。興味を持たれた方は、ぜひ当館にも足を運んでいただければと思います。本日はどうもありがとうございました。

## ＜山岳同好会＞ 10/26・27 雨飾山麓ツアー

10月26日～27日にRCメンバーとご家族含め8名にて紅葉真っ盛りの雨飾山麓へ行ってきました。初日は、糸魚川のフォッサマグナパークで日本列島の成り立ちについてお勉強と、近くの酒蔵に立ち寄り東西の井戸水の味比べと、地酒の仕入れ。（プラタモリでも放映されました）

次に、高浪湖と迫力のある明星山の景色を堪能、そしてその湖畔のキャンプ場で恒例のBBQ。宿泊先は糸魚川温泉でゆったりとくつろぎ酒を酌み交わし親睦を深めました。

二日目は、紅葉のすばらしい鎌池周辺の散策と、大渚山（標高1566.3m）に登山。天候にも恵まれ、山頂からの眺望も素晴らしく北アルプス、北信越の100名山も多く見渡せました。今回は安田会員の企画で下見も充分してもらい本当に楽しめました。ご参加いただいた、大谷・板谷ご夫妻はじめ、同好会世話人の皆様ありがとうございました。



大渚山山頂展望台



ヒーリングガーデンたかなみキャンプ場



鎌池にて



雨飾山を望む（大渚山より）



高浪湖と明星山



大渚山山頂前にて  
2024/10/31 山岳同好会キャプテン 鞍野 誠

